

講義科目名称： 新潟学

授業コード： 2210200100

英文科目名称： Niigata Studies

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択必修
担当教員			
◎中村義実、内海巖			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 15時間
	【担当教員】 【氏名】 ◎中村 義実 内海 巖	【研究室】 210 上越市創造行政研究所
【本学の科目区分】 教養科目		
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程		
【D P 1】 ◎ 【D P 2】 【D P 3】 【D P 4】 【D P 5】 【D P 6】 【D P 7】		

到達目標	新潟が持つ「地域資源（地域ならではの特徴を持つもの・こと）」に着目する。本格的な人口減少時代の中で、地域が本来持っている特徴に磨きをかけ、地域の魅力を高めていくために何が求められるか、さらには、地域が抱える課題にどう向き合っていくかを共に考える。地域への愛着と誇りを深め、全国的・世界的な視点から地域の存在意義を広く発信する力を養う。												
授業概要	コミュニティーの成り立ちは、地形、気候、自然、資源、インフラ、産業、民俗文化などの諸要素が関係し合っている。新潟が持つ地域資源の特徴を、それらの諸要素の因果関係（空間的時間的つながり）を踏まえて多角的に学ぶ。風土の特徴、歴史の積み重ね、人々の創意工夫などの幅広い視点から、地域の魅力の奥深さを探っていく。												
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>授業内容 授業形態： 対面 学習課題： はじめに 学習内容： 新潟学の意義、授業の到達目標</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>授業内容 授業形態： 対面 学習課題： 地域資源とは何か 学習内容： 信越県境エリアの地域資源を考える 学習方法： 講義</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>授業内容 授業形態： 対面 学習課題： 地域資源と自己アイデンティティー 学習内容： 地域と自己の関係を考える</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>授業内容 授業形態： 対面 学習課題： 新潟県の地域資源 学習内容： 自然環境、歴史、産業、民俗文化等、様々な視点から地域資源を掘り下げる</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>授業内容 授業形態： 対面 学習課題： 地域貢献に向けて 学習内容： 地域の課題を整理し、地域資源活用の仕方を考える</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>授業内容 授業形態： 対面 学習課題： 地域資源の発信 学習内容： 授業の学びを共にシェアし、発信する</td> </tr> </table>	1	授業内容 授業形態： 対面 学習課題： はじめに 学習内容： 新潟学の意義、授業の到達目標	2	授業内容 授業形態： 対面 学習課題： 地域資源とは何か 学習内容： 信越県境エリアの地域資源を考える 学習方法： 講義	3	授業内容 授業形態： 対面 学習課題： 地域資源と自己アイデンティティー 学習内容： 地域と自己の関係を考える	4-6	授業内容 授業形態： 対面 学習課題： 新潟県の地域資源 学習内容： 自然環境、歴史、産業、民俗文化等、様々な視点から地域資源を掘り下げる	7	授業内容 授業形態： 対面 学習課題： 地域貢献に向けて 学習内容： 地域の課題を整理し、地域資源活用の仕方を考える	8	授業内容 授業形態： 対面 学習課題： 地域資源の発信 学習内容： 授業の学びを共にシェアし、発信する
1	授業内容 授業形態： 対面 学習課題： はじめに 学習内容： 新潟学の意義、授業の到達目標												
2	授業内容 授業形態： 対面 学習課題： 地域資源とは何か 学習内容： 信越県境エリアの地域資源を考える 学習方法： 講義												
3	授業内容 授業形態： 対面 学習課題： 地域資源と自己アイデンティティー 学習内容： 地域と自己の関係を考える												
4-6	授業内容 授業形態： 対面 学習課題： 新潟県の地域資源 学習内容： 自然環境、歴史、産業、民俗文化等、様々な視点から地域資源を掘り下げる												
7	授業内容 授業形態： 対面 学習課題： 地域貢献に向けて 学習内容： 地域の課題を整理し、地域資源活用の仕方を考える												
8	授業内容 授業形態： 対面 学習課題： 地域資源の発信 学習内容： 授業の学びを共にシェアし、発信する												
事前・事後学習	関連資料（書籍、新聞記事、SNS映像等）の予習・復習（ミニレポート等）。												
評価方法、評価基準	小レポート（2回）と最終レポート 70%：講義内容の理解度を確認し、質を評価する。 授業への貢献度30%：講義への積極的な関わり（ミニツッペーパーの質）を評価する。												
必携図書	光永伸一郎、内海巖他（2024）：越境アプローチによる地域学習のすゝめ、上越教育大学出版会。												
参考図書・資料等	授業内で指示する。												
受講、課題、資料配布等のルール	配布資料はファイルに収め、毎回持参のこと。												

教員からのメッセージ	皆さんが本拠地とする地域について学ぶことは、自分のアイデンティティーを見つめ直す格好の機会になります。「地域資源」への理解を深め、自分とのつながりを感じる瞬間こそが自己成長のチャンスです。
オフィスアワー	